

ひとり一人の個性が輝く

認定NPO法人 十人十色

そうだ!書こう!!

と
い
ろ
通
信

2023年
春号

4月17日発行
Vol.53

必ず「今日の〇〇はおいしかったです」と食事のお礼を書いている利用者のYさん。Yさんのその言葉は書くことによって意識化され、言葉でもよく出てくるようになり、Yさんの言葉を聞くと、「ああ、次もYさんにおいしいもの作ってあげたいなあ」と思ってしまいます。正義感から注意するのが怒りに転じて、乱暴な行動ばかり目立っていたYさん。大きな変化です。なななんと「トルコ地震に送るお金を集めよう」と呼びかけ始めました。

私は「どうすれば人が育つのか？」ずっと考え続けていました。塾時代から重度のしょうがいの青年を預かり、福祉へと転換しました。しょうがいの方々の育成はもとより、高齢者の方の満足した最後の時までの豊かな時間の育み方。そしてスタッフ育成...と、いつも頭を悩ませてきました。「読むこと」「書くこと」が人を育てる重要なポイントであることは間違いありません。ですが、それを実行することがままならない状況でした。

昨年、ある事件をきっかけにスタッフに「ふりかえり」を提案しました。スタ

ツフは、いろんな資格を持っていて最終学歴も様々です。しかし、「ふりかえり」を読んでいると、その人の接遇や支援の上手・下手は、学歴となんの関係もないことがわかります。そこで利用者さんにも提案すると、文字も自由に書けない人が、一生懸命ふりかえりを書いています。最初私は、聞き取りしてスタッフが代筆したのかと思い、スタッフに尋ねると、「どんな日だったか話し合っ、本人が語ったことをスタッフが文字にして、本人が確認し、それをうつしている」というやり方をやった方が二人います。なんでもいい、今日をふりかえるという時間をもって、仕事終わりに何かを書く。その時間が大事だと思うのです。ていねいに自分と向き合い、ひたむきに言葉と向き合う姿、絞り出す言葉…。

自分をふりかえらず、ただ忙しく流れゆく日々を過ごしてしまいがちな現代の暮らし。どこか落とし物をしているような気がしてしまいます。「ふりかえりを書く」という時間は自分と向き合う時間です。豊かな豊かな時間なのです。

と・こ・ろ・が

「私自身が書いていなかった」のです。塾時代には毎日書くことを生業にしていた私自身が書いていなかったのです。これはまじめに生きていなかったことじゃないか？真摯に人生に向き合っていなかったことだと反省しました。愛犬が亡くなった喪失感など、目を背けたいことは山のようにあります。しかし、自分の人生は自分で生ききるしかなかったのです。どんなにやる気のない日でも、楽しいことばかりじゃなくても、自分自身をこぞらかし(心をなでなでする)て、「よいしょ」と、ふんばらないといけないこともあるのです。

今朝から毎日「ふりかえり」を書こうと書きはじめました。一年生にかえって生きなおしです。よろしくお願いいたします。

NPO 法人十人十色 理事長 岸本 美鈴



新型コロナ感染症の影響も落ち着きをみせ、ホームにも日常がもどりつつあります。ホームでも買い物や外出する方が多くなりました。

ある日、買い物から帰るとYさんが買い物をしたリストを持ってきてくれました。買い物リストを持ってきてくれる前に、こんなことがありました。

なんでもないことでイライラしたり、怒ったりすることが多かったYさんに、怒って飛び出した瞬間に抱きしめて尋ねました。

私：「人と人が話していることにいら立って地団駄ふんだり、怒ったりするのは自分がされたらどう思う？」

Yさん：「イヤだ」

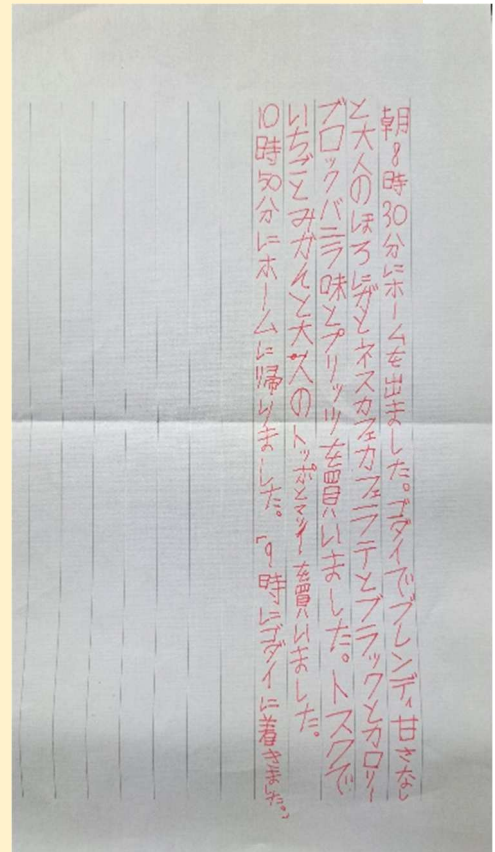
私：「そう、やめたい？」

Yさん：「うん」

私：「あのさ、“あなたの子はなぜあばれんぼうで勉強嫌いか”って言う本に、『甘いもの食べていると怒りやすくなる』って書いてあったよ。Yちゃんはいいい子なのに、砂糖さんが怒らせていたのかも？」

Yちゃんがいつも飲んでいるスティックのコーヒーにはサトウがいっぱい入っているからね」

Yさん：「ブラックにしよ」



買い物リストを持ってきたYさん、「いいの買って来た」と自慢げでした。

文/岸本 美鈴



なんやこの

作業所

就労継続支援 B 型事業

働く、内職、農業など

生活介護事業

アート、ラジオ体操など訓練・リ

生活介護



地域の伝統行事である、犬山神社に奉納する花籠作りです。

地域の方たちに教えてもらいながら、スタッフと利用者さんも一緒に参加しました。

竹で編んだ目籠に挿すヤナギの部分や風車に、切った色紙をのり付けしたり、巻き付けたりします。

難しかったです、みんなでがんばりました。

ヤナギを飾り付ける土台作り。設計図を見ながら、近所のおじいさんにも手伝って頂き、中々良い物が出来ました。



コロナ等の影響で二年ぶりの花籠奉納、地元の新聞にも掲載されました。

御利益願いやなぎ手に
用瀬 犬山神社で花かご神事

色とりどりの和紙を貼り、犬山神社で3年ぶり近々、事ごとく持ち帰った。付いたヤナギと呼ばれた。参拝者は1年間平、同町屋住居の藤原子、竹串や風車を竹筒に挿し、額を祈願するとともに、舞保彦会メンバーが舞を入れた花かごを奉納する。にして腰根に掛け上げお奉納して神事が始まる。伝統行事「花かご神事」が、くも家内安全などの御利益、参拝に助けた地域住民ら2日、鳥取市用瀬町宮原のがあるとされるヤナギ夫が、御利益を得ようとした花かご

ごからヤナギや風車を次々に抜き取っていった。初めて参拝したという同町内の生田彩芽さん(15)はヤナギを手に「春から始まる高校生活が充実するよう、健康を祈願した」と話した。神事は毎年4月の大祭で行われていたが、新型コロナウイルスや氏子の高齢化を受けて2年間中止していた。住民の地域の伝統を「したい」という声を受けて、氏子総代の西川功美さんが会長を務めるいざなぎ社まわつくり協議会と地元ボランティアが神事の再開に向けて協力し、3年ぶりの花かご奉納となった。

西川さんは「みなさんに手伝ってもらい喜んでいただけ。今後も伝統文化を継承できれば」と伝統行事の復活を望んだ。(井田真)

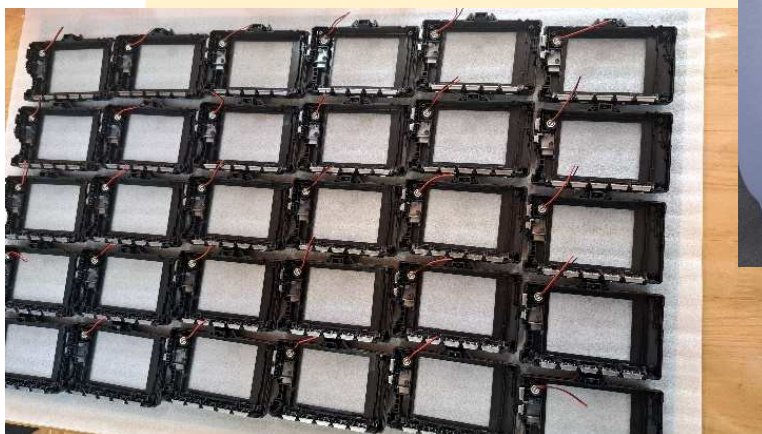
家内安全などの御利益を得ようとヤナギを手にする参拝者=2日、鳥取市用瀬町宮原の犬山神社

文/小谷 尚久

B 型

冬は味噌の仕込みをしていきます。手作業の部分が多いので中々いつも同じ出来と言う訳には行きません。特に麹の温度調整は難しく、少しでも菌が元気に動けるようにと色々工夫しながら作業しています。毎年いい出来になっていっていると思います。

文/岸本 一平



利用者A君の話

R2(2020)年4月 はじめて789作業所にやってきました。

最初は何を聞いても「恥ずかしい」の一言。トイレに行きたいとも言えずスタッフが様子を見ながら声掛けします。一旦トイレに入ると、しばらく戻らず、声をかけると元気に「はーい」と出てきますが、床がびしょびしょ...いたずらをしていたようです。その後半年くらい壁の落書き、掃除道具へのいたずら等が続きました。作業に於いては最も簡単と思われる作業から挑戦しました。初めは四苦八苦していましたが、日が経つにつれ少しずつ要領を覚えて出来るようになりました。少し離れて見ていると、視線を送ってくるので、褒めると目を細めて嬉しそうにしています。ある時は作業が終わっても何も言えず、スタッフが気付いていないのを周りの作業生達が教えてくれたりすることも。

研修や保護者の方とのやり取りを重ね、徐々にA君の悪戯もなくなり、周りの利用者さんにも思いやりの心が育っているように感じています。A君は今出来る作業がどんどん広がっていています。

文/安東 文枝

ちゃんちゃん

「ちゃんちゃん」は、近隣の高齢者の方に利用して頂いています。宿泊の方、通いの方、訪問の方...それぞれの利用者さんに合ったサービスを提供しています。

小規模多機能型居宅介護
介護予防小規模多機能型居宅介護事業所

節分(2月)

ちゃんちゃんに赤鬼・青鬼がやって来ました。利用者の皆さんと一緒に豆まき。福が来ますように...そして一年間、無病息災、健康でいられますように....



ひな祭り(3月)

昼食は「桃の節句」にちなんでちらし寿司が出て、利用者の皆さん喜んでおられました。午後からはひな祭りのイベント。皆さんと一緒に歌を歌ったり楽しい会になりました。



利用者のTさん 大正12年参月生まれ
百寿 おめでとうございます!
麒麟がいっぱいの皆さんがお祝いに駆け付け、獅子舞を披露して下さいました。これからも益々のご健勝のこと、幸せな毎日が続きますよう、心から願っております。





2023年3月19日(日) 西伯郡大山町 中高ふれあい文化センター
人権学習講演会「春風にのせて」 講師 岸本美鈴

待ちに待った対面の講演会が実現!!

コロナ禍の為、延期に延期が続き3年越しにやっと美鈴理事長の講演会が大山町で開催されました。

講演会が開催される時には出張販売の店を出します。西部地区での開催時は、自称「十人十色西部地区応援団長」の加藤は出番とばかり、ピンクの法被をはおり、十人十色の手作り味噌、らっきょう“楽今日”他を並べ、出店は準備万端。

美鈴さんのハスキーで力強い声で講演会がスタート。第一声は「お待たせしました!」から始まり、十人十色の活動をスライドで紹介。

地域活性化事業 おいっちにいさん 1 2 3

グループホーム よっころしよ 4 5 6

就労支援 B 型・生活介護事業 なんやこの作業所 7 8 9

スライドと資料を見ながら参加者から「ほー」とか共感の声がしました。

いつもながら感心するのは遊び心のあるネーミング。

らっきょうの酢漬けを“楽今日”になるほど、今日も元気に楽しくか。

思わずクスッと笑いを誘う名称。柔軟性のある名称は十人十色の活動が利用者ファースト、温かさを感じます。

鳥取県は地域によって方言が違います。東部と西部の人が話をすると互いに戸惑うこともしばしば。例えば「ご亭めし」。用瀬ではご亭に「あなた」という意味があるとのこと。「あばさん」は「おばさん」のこと。米子では使わんなぁと思いながら聴いていると講演会が終了。すると参加者が出店に寄り、色々な商品を手次々と買ってニコニコと帰宅されました。

私は毎年十人十色で販売されているグランドの塩を使って、大山町で手作りの味噌を作っています。自分が使っているから自信を持って塩を勧められます。ニンジンジュースもチョコレートも高いけれど、本当の味を知ってもらって元気になってほしい。手作りの味噌やらっきょう、手作り作品、アートは利用者の皆さんの日々の努力の賜物です。利用者の想いが伝わり、皆さんが商品を買ってくださったのだと思います。

こうして大山町の講演会と出店は終わり、「またね」とハイタッチをして、満足して用瀬に帰る車を見送りました。

十人十色は『ひとり一人の個性が輝く』を合言葉に活動をしています。私も仲間の一人として、これからも共に歩んでいきたいと思います。

文/西部地区応援団長 加藤 洋子

ごてえよっぺてえつくらぁいや みんなの笑顔のアート展

十人十色のアーティストたちも参加する「ごてえよっぺてえつくらぁいや」がアート展を3月18日～22日にはっちゃん家（鳥取市用瀬町 因幡社駅前すぐ）で開催しました。

令和4年度「あいサポート・アートとっとり展」において4名のアーティストが最優秀賞・金賞・銀賞・銅賞を受賞した作品も展示されました。

受賞の喜びを伝え、アーティストたちが継続して、楽しんでアート活動ができるよう支えて下さる皆様に感謝の気持ちもこめて今年度のアート展を開催しました。



文/岸 舞

令和4年度 虐待防止研修会



虐待防止委員会を再編成。定期的に外部講師を招いての内部研修を行っています。3月には全体研修を行い、ほぼ全職員が参加しました。

0858 - 87 - 3502

ご亭めし



営業日: 月・水・木・金曜日

時間: 10時~14時、金曜日のみ16時まで



暖かくなり、会議やイベントなどのお弁当が増え、注文して頂いたお客さんからも喜びの反応を頂くことが多く、スタッフ一同とても喜んでいます。



店内には作業生達の手掛けたアートギャラリーがあります。



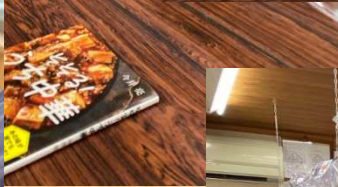
久しぶりに東京から来たYさん
娘婿さんから「いいなあお母さん、ご亭めしのご飯が食べられるのいいなあ」と言われたそうです。嬉しいですね!お米は自分のところで育てた自家米100%ですから!

文/岸本 一平



どなたでも参加出来ます。好きな本、お気に入りの本を一冊持ってきて下さい。夜に開催は本夜、昼に開催は本昼。読書会。

3月25日朝、読書会。本屋でも本昼でもなく、本朝ね。10名の参加者。本の紹介をした後、大トランプ大会になりました。



文/岸本 美鈴

2023年1月～3月までの行事

1月

- 9日 ちゃんちゃんスタッフ会議
- 12日 ホーム456スタッフ会議
- 10日 川柳の会
- 19日 789作業所スタッフ会議
- 20日 成年後見人さん来所
- 21日 あいサポート・アートとっとり展表彰式
- 25日 ホームメンバーミーティング
- 26日 ちゃんちゃん運営推進会議
- 29日 鹿の子いきいきサロン

2月

- 2日 ホーム456スタッフ会議
- 6日 虐待防止委員会
- 7日 植田ドクターによる統合失調症の研修
- 8日 ちゃんちゃんスタッフ会議
- 16日 789作業所スタッフ会議
- 17日 成年後見人さん来所
- 25日 ホームメンバーミーティング
- 26日 鹿の子いきいきサロン

3月

- 2日 ホーム456スタッフ会議
- 6日 ちゃんちゃんスタッフ会議
- 16日 789作業所スタッフ会議
- 17日 成年後見人さん来所
- 19日 大山町人権講習会
理事長講演「春風にのせて」
- 22日・28日 虐待防止研修
- 23日 ちゃんちゃん運営推進会議
- 25日 ホームメンバーミーティング
- 26日 鹿の子いきいきサロン
- 27日 避難訓練
- 29日 防災会議

ご寄付ありがとうございました

神部郁江様、西尾玉子様、岸舞様、長谷川康弘様（令和5年1月1日～3月末日迄）

<継続寄付ありがとうございます！>

青柳順子様、岸本美鈴様、森井麻貴様

継続寄付はホームページからいただけます。
どうぞよろしくお願いたします。

編集後記・・・新年度になり、またという通信の編集を担当することになりました。よろしくお願いいたします。春先は気候が暖かくなって来て利用者もスタッフも調子が乱れがちです。せっかくコロナも落ち着いたので体調には気を付けたいですね。 岸本 一平

認定NPO法人 十人十色

特定非営利活動法人 十人十色

活動理念

誰もが、特に今の社会では不合理な状況におかれやすい人達が、人として大切にされ、可能性を伸ばしていくことが出来るよう、共に歩み地域との接点をつくることを通じてよりよい社会づくりに貢献します。

地域活性化事業

おいっちにいさん 123

不登校・ひきこもりの支援からはじまりました。様々な当事者さんに寄り添い、各専門センターと連携して対処、解決していくところです。

グループホーム

よっこらしょ 456

知的・精神障害者手帳を持った方々の自立・自律を目指したグループホーム。'手づくりごはんをちゃんと食べられる。夜に寝て、朝起きる。'を大事にしています。毎月、一緒に暮らすみんなで「メンバーミーティング」を開き自分たちで様々なルールを決めています。

就労支援B型・生活介護事業

なんやこの作業所 789

就労継続支援B型

地域の宝再生！農業・後継者のいなくなった地域の田畑を荒地にしないよう、米づくり、大豆づくりをして、本物の手づくりみそに加工。また、白ねぎの生産・販売をしています。受託作業として柿むき・らっきょうなどの作業を行い、福祉と農業をつなぐ日々。地域のお祭り・イベントに出店。店舗も常設、常時商品も販売しています。出店での接客、お運び・茶碗を洗うなどの作業。その他には、電子部品の組み立てなどの内職なども行っています。

生活介護

訓練・リハビリ。朝起きて行く場所があり、そこに仲間がいて一緒にうたったり、体操したりする。生活リズム構築。アートもしてま〜す。作品は目を見張るものがあります。

イベント・啓発など

地域福祉を活性化する楽しいイベントも開催。気軽にご参加ください。



小規模多機能居宅介護

ちゃんちゃん



地域密着型サービスで、今までの人間関係や生活環境をできるだけ維持できるように、「通い」「訪問」「泊まり」の3つのサービスを24時間体制で提供できるのが大きな特徴です。小規模なので利用定員に限りはありますが入浴、食事、体操や機能訓練、季節ごとの催しも充実。一人暮らしの方や不安を抱えるご家族の方など一度ご相談ください。

鳥取ふれあい共生ホーム

〇〇KOMORIや



赤ちゃんから高齢者まで、誰でも集い、支えあえる事業所併設型サロン。毎月「本夜（ほんや）」開催。おすすめの本を一冊持って集まる。

飲食・カラオケ・物販事業

ご亭めし



食事・喫茶のお店です。宴会のご予約・お弁当の出前承ります。皆様のご来店、お待ちしております。

NPO法人十人十色

案内図

